

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☒ 支 援 部 門				議会—01 議会事務				ザイムスコード及び個別事業名			
	主管課				議会事務局				472 議会事務			
	分野名				関連課				473 議員報酬等			
	目 標				市民自治				475 広報・会議録作成発行事務			
	(目標値)								1341 広報・会議録作成発行事務			
人口等の データ	データ区分	21年度		20年度		備 考				1386 議会事務		
	人 口	176,669人		176,484人		・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世 帯 数	78,131世帯		77,430世帯								
	運営資源 状 況	決算値	301,922千円		292,136千円		指標と評価					
(国・県)												
(負担金等)												
(一般財源)				292,136千円								
人員配置数		10.0人		10.0人								
人 件 費		91,534千円		93,164千円								
協 働 の パートナー												
事務事業 運営経費	総事業費	393,456千円		385,300千円								
	市民1人当 りの経費	2,227円		2,183円								
	対象者1人 当りの経費											
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	最終年度 (年度)	20年度	1,500件/月	814件/月		
	職員実数	17	13	10	11	12		21年度	1,500件/月	959件/月		
	議員定数	43	30	28	36	28		22年度	1,500件/月			
	団体名	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市	三浦市	秦野市		23年度	1,500件/月			
	職員実数	12	8	22	6	10						
	議員定数	30	20	52	18	26						
	団体名	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市						
	職員実数	13	10	8	7	7						
	議員定数	28	29	24	24	24						
	団体名	南足柄市	綾瀬市									
	職員実数	5	8									
	議員定数	16	22									
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)開かれた議会の実現を図るための方策の一つとして、19年9月定例会から開始した本会議インターネット中継を継続しているが、20年度のアクセス件数が月平均814件であったのに対し、21年度は月平均959件で対前年度比18%の増であった。導入当初の19年度は、月平均1,371件であり、3年目の21年度は復調している。さらに年度毎の推移を比較検討し、検証を行いたい。 (2)開かれた議会の実現を図るため、車イスを利用する方も自由に本会議の傍聴ができるよう、議会本会議場傍聴席バリアフリー工事をを行った。										
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)インターネット中継については、定例会の進捗状況等に関する市民からの問い合わせ時に口頭による周知のほか、議会だよりの紙面においても周知を図っているところであるが、今後、アクセス件数の検証を行いながら、更なる周知方法を検討していく。 (2)車イスを利用する方も他の傍聴者と同じように傍聴できるよう、関係課と協議を行い、平成21年度にバリアフリー化改修を実施し、利用は3件であった。また、利用者への安全に徹するよう、職員の研修を行った。市民からの問い合わせ時に口頭による周知のほか、議会だよりの紙面においても周知を図っているところであるが、今後も更なる周知方法を検討する。										
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)議会だよりにおいて、「本会議インターネット生中継及び録画中継」のご案内、また、市議会ホームページにおいて、「議会ホームページ」や「議会だよりに」に関する事務局への意見をメールでいただけるよう周知策を講じているが、インターネット中継へのアクセス件数は微増である。また、ホームページや議会だよりに関して寄せられる意見は少ない。 (2)議会本会議場傍聴席バリアフリーについて、引き続き、利用者への安全な実施に努める。										
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 1)会議録検索システムや議会だよりの戸別配付等により、議会からの情報発信については一定の成果を上げていると考えるが、更なる情報発信の充実を図るため、本会議インターネット中継アクセス件数の検証を行いながら、22年度9月実施予定の常任委員会等インターネット中継について導入の準備を進める。 (2)議会本会議場傍聴席バリアフリーについて、引き続き、利用者への安全な実施に努める。										
一次評価(課長評価)						二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了												
評価結果	改善の必要性	本会議インターネット中継は、議会で議論されている市政の諸課題に対する市民の理解を深める上で大きな役割を果たしている。更なる広報活動を行い、利用件数の向上を図り、市民に分かりやすい議会を目指す。				評価結果	改善の必要性	高齢者や障がいを持つ方々などが地域で安心して社会参加を行える環境を整備する必要性から更なる充実を図り、議会の活性化を図るとともに、市民の行政運営への更なる参画・協働を促す。				
A	無					A	無					
課長名		小島俊昭				部長・部長名		譲原 準				